

平成19年度 高冷地水稻生育速報(第5報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月10日調査)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	53.8 (83%)	522 (94%)	5.1 (+0.2)	40.7 (+3.1)	10.3 (+0.2)
	前年	61.5	588	4.6	38.0	9.6
	平年	65.2	558	4.9	37.6	10.1
ひとめぼれ	本年	52.6 (87%)	517 (95%)	5.0 (+0.2)	40.1 (+3.7)	10.2 (+0.3)
	前年	57.9	615	4.5	38.6	9.6
	平年	60.2	545	4.8	36.4	9.9
たかやまもち	本年	52.3 (81%)	500 (104%)	5.1 (+0.0)	41.1 (+1.9)	10.3 (+0.0)
	前年	66.1	562	5.1	42.7	9.6
	平年	64.4	483	5.1	39.2	10.3
ひだほまれ	本年	60.8 (89%)	384 (91%)	5.2 (+0.5)	41.8 (+4.3)	10.8 (+0.2)
	前年	64.8	397	4.8	39.1	10.2
	平年	68.2	423	4.7	37.5	10.6

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

雨天が少なく降水量は少なかったが、日照時間は平年よりやや短くなっており、6月中旬から寡照が続いている。気温は、ほぼ平年並みで推移している。

草丈は、いずれの品種も平年より短い。「コシヒカリ」は、やや伸長したものの対平年値83%と、対平年値81%の「たかやまもち」とともに、平年よりかなり短い状態が続いている。

茎数は、「コシヒカリ」以外の品種で前回調査時より減少し、ほぼ平年と同時期に“最高分けつ期”を経過した。「たかやまもち」では対平年値104%と平年より多くなったが、他の品種ではいずれも平年よりやや少ない。

葉色は、葉色板では、「たかやまもち」で平年並みであるが、他の品種ではやや濃くなっている。SPAD値では、いずれの品種も平年より値が大きくなっている。葉色板、SPAD値とも、特に「ひだほまれ」で濃くなっている。

葉齡は、「たかやまもち」で平年と同じであり、他の品種では+0.2~0.3と平年よりわずかに多い。

2) 病虫害等の発生状況

イネミズゾウムシの成虫は、ほとんど見られなくなった。イネドロオウムシ(イネクビボソハムシ)、イネツトムシ(イチモンジセセリ)及びイネアオムシ(フタオビコヤガ)の幼虫が所々に見られる。

3) 今後の管理

「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」の他、軟弱な稲には、「けい酸加里」を10aあたり30kg施用する。

5月17日植の「たかやまもち」の幼穂長は0.2~1.4cm程となっている。これより予想される出穂期は7月27日~30日頃と、平年値の7月29日とほぼ同時期と思われる。

<参考> 前回調査時(7月3日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	41.7 (77%)	506 (89%)	5.2 (+0.1)	41.5 (+2.3)	9.4 (+0.0)
	前年	52.7	617	4.9	38.1	9.1
	平年	54.3	568	5.1	39.2	9.4
ひとめぼれ	本年	44.9 (90%)	537 (97%)	4.9 (-0.2)	40.4 (+1.8)	9.4 (+0.2)
	前年	47.6	648	4.9	38.7	9.0
	平年	49.9	555	5.1	38.6	9.2
たかやまもち	本年	44.2 (81%)	513 (101%)	5.2 (+0.0)	41.2 (+1.3)	9.5 (+0.0)
	前年	55.4	593	5.0	41.9	9.0
	平年	54.3	507	5.2	39.9	9.5
ひだほまれ	本年	50.2 (88%)	393 (88%)	5.3 (+0.3)	40.9 (+2.3)	10.1 (+0.4)
	前年	54.8	406	5.0	39.5	9.4
	平年	57.2	448	5.0	38.6	9.7

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>